

## A-4 評価の方法と評価の観点について

### 「総合的な学習の時間」における評価の方法

#### <評価方法>

各時間・各内容ごとのねらいを生徒が達成しているかどうかを、以下の方法を用いながら見取っていく。

#### ①教師による評価

- 行動観察・・・・・・・・・・活動場面の生徒の様子や、発言から評価する。
- ポートフォリオ評価・・・・・・・・ワークシートでの振り返りや感想などから生徒の現段階での育ちや変容を読み取り、評価する。

#### ②生徒自身による評価

- 自己評価・・・・・・・・・・生徒自身がねらいについてどこまで達成できたかを自己判断する。

#### ③生徒同士による評価

- 相互評価・・・・・・・・・・相手の発表などの場面や一緒に行動した後などに、相手に対して分かったことや良かったところ、アドバイスなどを記録し、それをもとに評価する。

※生徒自身の「ことば」に注目し、生徒の学びや育ちを「ことば」から読み取っていくように心がける。

※単なる感想になることがないように、ねらいや身につけたい力に即した記述となるような発問設定を行う。

#### ④連携先からの評価

- 外部評価・・・・・・・・・・活動の連携先の方々から、生徒の様子などについて、ねらいにもとづいて評価していただく。

※外部との連携の場合は、活動のねらいやそれを通して生徒に身に付けさせたい力についての説明を十分に行い、それを外部指導者―生徒―教師で共有した状態の中で活動を行うようにした。評価の方法や項目なども、外部指導者との十分な打合せの時間が必要である。

